

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-080345

(43)Date of publication of application : 31.03.1998

(51)Int.Cl.

A47F 7/00

(21)Application number : 08-255325

(71)Applicant : LION CORP

(22)Date of filing : 06.09.1996

(72)Inventor : UMEZAWA NAOYUKI
SATO MASAYUKI

(54) GROUND PAPER FOR DISPLAYING ARTICLE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To safely display an envelope-shaped or center joined seal-shaped packed article using a paste calendered ground paper at the shop.

SOLUTION: In a ground paper 1, in which a large number of envelope-shaped or center joined seal-shaped article pack bags A, each of which stores products therein, are arranged in longitudinal and/or lateral directions in an overlapping or spaced apart relationship, and a large number of pasting holes 2 are formed in the ground paper 1 in the longitudinal and/or lateral directions thereof so as to be spaced one from the other and the holes 2 consist of pairs of holes 2 and in each pair of holes, the holes 2 are oppositely oriented one to the other on both sides of a connection piece 4, and the adhesive layer surface of an adhesive tape 3 is disposed at each of the holes 2 separated by the piece 4, whereby article pack bags each comprising a center joined seal-shaped pack bag are provided. And when packed articles are displayed using a calendered ground paper, the packed articles can be safely separated without damage to the sealed portions thereof even if strong adhesion is applied to the packed articles, so that the packed articles can be easily handled.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of

(10) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-80345

(43) 公開日 平成10年(1998)3月31日

(51) Int.Cl.⁴

識別記号

序内整理番号

F I

技術表示箇所

A 4 7 F 7/00

A 4 7 F 7/00

E

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-255326

(22) 出願日 平成8年(1996)9月6日

(71) 出願人 000006760

ライオン株式会社

東京都墨田区本所1丁目3番7号

(72) 発明者 梅沢 尚之

東京都墨田区本所一丁目3番7号ライオン株式会社内

(72) 発明者 佐藤 正幸

東京都墨田区本所一丁目3番7号ライオン株式会社内

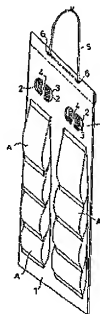
(74) 代理人 弁護士 篠田 花 (外1名)

(54) 【発明の名称】 物品陳列用台紙

(57) 【要約】

【課題】 封筒形或いは中央台紙シール形包装物品を貼付カレンダー台紙での店頭陳列展示を安全に行う。

【解決手段】 封筒シール形或いは中央台紙シール形のバック紙に製品を入れた物品バック紙Aを縦方向または及び横方向に多数重なりをずらせて重ねて重ねて配列貼着する台紙1であって、該台紙1に縦方向または及び横方向に間隔をあけて多数形成した貼付穴2が中央部に翼片4を介在して対向する一対の穴で構成され、この中央部の翼片4で分離された同貼付穴2に貼着テープ3の粘着層面3、を配備したことで中央台紙シール形の包装袋を用いた物品バック紙、その他包装物品を貼付カレンダー台紙で陳列販売の際に、強力粘着によってもシール部分またはその周辺が破れることなく安全に取り外しができ包装物品の損傷もなく取扱い簡便である。



(2)

特開平10-80345

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 物品パック袋を縦方向または／及び横方向に多数重なりをずらせて或いは離して配列貼着する台紙であって、該台紙に縦方向または／及び横方向に間隔をあけて形成した貼付穴が中央部に繋ぎ片を介して対向する一対の穴により構成され、この中央部の繋ぎ片で分離された両貼付穴に貼着テープの粘着層面をそれぞれ配置したことを特徴とする物品陳列用台紙。

【請求項2】 前記物品パック袋が、封筒形シール袋或いは中央合掌シール形状である請求項1記載の物品陳列用台紙。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、食品、雑貨品、化粧品、その他商品を包装した包装物品或いはパック製品、特に封筒形シール袋や中央合掌シール形状を用いた物品パック袋を陳列棚もしくは陳列して店頭販売する際に用いられるパックホルダー用の商品陳列カレンダー台紙に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の物品陳列用台紙では、種々の方式があるが、商品の包装が破れないで取り外ししやすい形態として粘着テープを用いて、この粘着テープに貼り付けて用いる方式が、店頭陳列用として食品、雑貨品全般に多用されているが、このタイプでは、台紙に多数形成した貼付穴に粘着層を露呈して粘着テープを台紙表面に貼着貼付したものが知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、この貼付タイプでは、殆どが軽量商品のパック袋が主で問題はないが、比較的重さのある商品では粘着力の関係で物品パック袋が落下してしまうので、最悪しないようにするためには粘着タイプテープを使用することが多い。この粘着テープを用いた場合、包装袋が封筒シール形或いは中央合掌シール形を用いることが多い物品パック袋では、この裏面側にあるシール部分が粘着テープに貼付けられ、多量のために店頭で物品パック袋を取り外す時に、合掌貼りシール部分またはその周辺が破れることが多発して取扱上問題があった。殊に食品など波状商品または紙や粉成りのは粒状物を含む商品では二重袋にしたり、多用されている封筒シール形或いは中央合掌シール形の包装袋を用いることができないなど物品陳列用台紙の使用上の制約ができて不便であった。本発明は、これら従来の欠点を排除しようとしたもので、封筒シール形或いは中央合掌シール形の包装袋を用いた物品パック袋、その他包装物品を貼付カレンダー台紙で陳列販売する際に、強力粘着によってシール部分またはその周辺が破れることなく安全に取り外しでき、包装物品の脱落もなく取扱い簡便で低コストの形態の物品陳列用台紙を提供することを目的としたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、封筒シール形或いは中央合掌シール形の物品パック袋を縦方向または／及び横方向に多数重なりをずらせて或いは離して配列貼着する台紙であって、該台紙に縦方向または／及び横方向に間隔をあけて形成した貼付穴が中央部に繋ぎ片を介して対向する一対の穴により構成され、この中央部の繋ぎ片で分離された両貼付穴に粘着テープの粘着層面をそれぞれ配置したものである。

【0005】

【発明の実施の形態】本発明の実施形態では、物品陳列用台紙に縦方向および横方向に多数形成した貼付穴に粘着層面を露呈して粘着テープを台紙表面に貼着貼付したもので、該貼付穴が中央部に繋ぎ片を介して対向する一対の穴で構成されているので、封筒シール形或いは中央合掌シール形の袋に商品を入れた物品パック袋を貼付穴に貼付けると、該物品パック袋の裏面にある合掌貼りシール部分が粘着層面のない繋ぎ片上に位置して貼付けられることとなり物品パック袋を台紙から引き剥がして取る時にシール部分またはその周辺が破れることなく安全に物品パック袋を外すことができ、強力粘着テープを使用して物品パック袋の脱落防止も確実に行うことができる。

【0006】

【実施例】本発明の実施例を図1乃至図4の例で説明すると、封筒シール形或いは中央合掌シール形のパック袋に製品を入れた物品パック袋Aを縦方向または／及び横方向に多数重なりをずらせて或いは離して配列貼着する台紙1であって、該台紙1に縦方向または／及び横方向に間隔をあけて多数形成した貼付穴2が中央部に繋ぎ片4を介して対向する一対の穴で構成され、この中央部の繋ぎ片4で分離された両貼付穴2に粘着テープ3の粘着層面3aを、配付した物品陳列用台紙とされている。

【0007】この場合、前記台紙1は厚紙或いはプラスチックボード等を用い、上端を折曲げ折り返して二重にして吊り下げ紐らの取付け用の挿通穴8或いは増目を設けるか、連綿片を設けるかして物品パック袋Aの店舗での陳列陳示しやすいようにしてあり、台紙1の表面に適宜広告、印刷模様などの表示（図示せず）を施して用いる。さらに、前記貼付穴2としては、繋ぎ片4を介して半円形穴を対向させてあるが、楕円形穴、角形穴、異い過した長方形穴その他の形状の貫通穴を選んで設け、物品パック袋Aの貼り付けに支障がない形状、大きさにしてある。

【0008】なお、前記粘着テープ3は、強力粘着層を片面に備えて台紙1の裏面に多数ある対向した前記貼付穴2、2に跨がって接着し、各貼付穴2内に粘着層面3aが露呈されている物品パック袋Aの接着保持が確実にできるようにしてあり、かつ一対の貼付穴2、2を台紙1の横方向に物品パック袋の大きさに対応して間隔をあ

(3)

特開平10-80345

3

けて多数設けてあって、物品バック袋Aの位置に少しずつ嵌めて重なりをずらすことにより、取外ししやすいようにすることが考慮されている。また台紙1の大きさによって物品バック袋を横方向にも一列或は二列以上配列できるように貼付穴2を設ければよい。

【0009】また、貼着テープ3は、前記貼付穴2に対して全体に貼り付けてもよいが、図示例の如く両端に隙間をあけて貼り付け、粘着テープのテープ端が貼付穴2の幅み方向に対して若干ゆれみがあって、穴内に押し込まれはいる込んだ形態として台紙1上にある物品バック袋Aとの接着性を良くするようにするのがよい。(図3)そして、多数ある貼付穴2に対して連続した貼着テープ3を台紙1が縦長のものであれば縦方向に、また横長のものでは横方向に台紙表面に接着すればよく貼付穴2内での露出面積も物品バック袋Aの位置に対応して適宜適へばよい。

【0010】図5の具体例では、物品バック袋Aの貼付穴2で貼着する台紙1上の箇所を2ヶ所以上にしたもので、中央合掌シール形状の物品バック袋Aの裏面シール部にかからない位置、例えば物品バック袋Aの四隅に対応する位置に貼付穴2を設けて貼着しやすくし貼付穴2、2間が繋ぎ片4となって貼り付けを剥がす際に、中央合掌シール形状の裏面シール部が縦方向に破れないようにすると共に、物品バック袋Aの脱着防止に役立てたものである。この場合、前記物品バック袋Aは剥離されるものと兼て配列してもよいが、上下の貼付穴2の両方を換わずに、図1例の如く上下分かれて用いた重ね合せ貼付方式としてもよい。

【0011】

【発明の効果】本発明は、物品バック袋を縦方向または及び横方向に多数重なりをずらすことにより、取外しは楽に配列*

*貼着する台紙であって、該台紙に縦方向または及び横方向に間隔をあけて形成した貼付穴が中央部に繋ぎ片を介して対向する一対の穴により構成され、この中央部の繋ぎ片で分離された両貼付穴に貼着テープの粘着層面をそれぞれ配着したことにより、封筒シール形或いは中央合掌シール形の包装袋を用いた物品バック袋、その他包装物を貼付台紙で随時展示販売の際に、強力粘着によってもシール部分またはその周辺が破れることなく安全に取り外しができる包装物の脱落もなく取扱い簡便で、しかも物品バック袋の保管並びに輸送にも便利であり、カレンダー台紙として簡単に製造でき大量生産に適し安価な形態とすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例の一使用状態の斜視図である。

【図2】図1の例の台紙を示し、(a)は正面図。

(b)はB-B線における縦断面図。(c)はC-C線における縦断面図である。

【図3】図2のA-A線における拡大縦断面図である。

【図4】図2の例の使用状態の一部の正面図である。

【図5】本発明の他の実施例の使用状態の一部の正面図である。

【符号の説明】

A 包装物品

1 台紙

2 貼付穴

3 貼着テープ

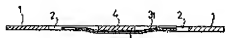
3' 粘着層面

4 繋ぎ片

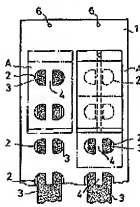
5 吊り下げ壁

6 通し穴

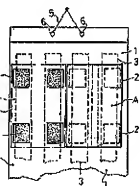
【図3】



【図4】



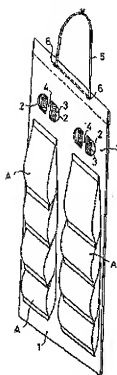
【図5】



(4)

特開平10-80345

【図1】



【図2】

